

住民の切実な願い実現へ

日本共産党草津市議団も力尽くす

児童育成所（児童育成クラブ）は、親の労働を保障するとともに、子どもたちを取り巻く社会環境が深刻化するなか、子どもたちにとっては放課後を安全・安心に生活できる場でもあり、年々、入所希望が増え続けています。

また、政府が進める子ども子育て支援新制度にも位置付けられ、小

学童保育所（児童育成クラブ）は、親の労働を保障するとともに、子どもたちを取り巻く社会環境が深刻化するなか、子どもたちにとっては放課後を安全・安心に生活できる場でもあり、年々、入所希望が増え続けています。

また、政府が進める子ども子育て支援新制度にも位置付けられ、小

高まり、2月には共産党議員団の篠原とも子市議を紹介議員として、「請願書」が草津市議会議長あてに提出されました。

17日には文教厚生常任委員会にて請願審査がおこなわれ、全会一致での採択となりました。26日閉会日の本会議にて、議員全員による採決がおこなわれます。

学童保育においては、15年度から民設・民営による学童保育所も3か所・120名分設置されま

すが、校区を越えた保育となるケースが多く、学校からの送迎や保育所までの迎えに大きな困難がともないます。複数の子どもを抱えているご家庭にとつてはたいへんなご負担となりかねません。

党議員団は学童保育所に入れたい児童を生まなために、最終的には行政が前面に出て、責任を持って対応することを強く求めて今後もがんばる決意です。



代表質問席に立つ
藤井みえ子市議



弁当持参できない子どもへの対応は
学校給食法に定める中学校給食の導入で

滋賀県内 中学校給食 実施へ大きな流れ

中学校給食の実施を求める市民の運動は大きな高揚を見せています。大津市は、中学校給食の実施を求める保護者を中心とした運動を背景として、給食実施の方針を打ち出しましたが、これにより、滋賀県内にて中学校給食を実施していない自治体は草津・栗東・守山の3市のみとなりました。

しかしこの3市でも大きな変化が見られます。栗東市では葉山中学校で、一週間、試験的に給食を実施するための予算300万円が議会に提案され、守山市でも中学校給食を検討するための委員会設置費用170万円の予算が提案されました。

草津市では2月議会にて、共産党議員団が中学校給食の実施を求めて質問。「教育上の問題、社会情勢の変化などから、教育的配慮をふまえ、再検討していきたい」と、これまでより踏み込んだ答弁を引き出しました。



<http://kusatu.jcp-web.net/>
久保あきお
草津市青地町 975-9
077-567-8604



くらし・福祉・教育
篠原とも子
草津市矢橋町 7-102
077-532-2012



身近な生活相談所
藤井みえ子
草津市南山田 468-2
077-562-9822